

令和7年度岡山県農林水産総合センター農業研究所試験研究課題評価結果票

＜事前評価＞

総合評価凡例	5 : 優先的に実施することが適當 3 : 計画等を改善して実施することが適當 1 : 計画等を見直して再評価を受けることが必要	4 : 実施することが適當 2 : 実施の必要性が低い
--------	--	--------------------------------

番号	R7-事前-3						
課題名	気候変動に対応した黒大豆の系統選抜と安定生産技術の確立						
課題の概要	莢付きがよい新たな系統の選抜に取り組むとともに、「岡山系統1号」の収量・品質向上のための栽培技術を検討する。また県が育成した黒大豆品種・系統について健全で純正な原種を供給する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	1人	4人	1人	0人	0人	4.0
	有効性	0人	6人	0人	0人	0人	4.0
	効率性・妥当性	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
	総合評価	1人	5人	0人	0人	0人	4.2
助言・指摘事項等	1. 系統ごとの形質を早急に把握することで、高温・乾燥耐性のある品種育成に努めて欲しい。 2. 今後の安定生産に役立つ成果が得られることが期待される。 3. 収穫時期も裂皮等品質に影響を及ぼす事例があるので、適期収穫に関しても、余裕があれば検討願いたい。 4. 異常高温の状況下でも、黒大豆の収量や品質を維持し、ブランド化をさらに強化する必要がある。 5. 黒豆の安定的栽培が可能な品種の選定と栽培方法を確立すれば、広く活用され、生産者の所得向上に寄与できる。						

番号	R7-事前-4						
課題名	モモのスマート栽培システムの実用化と担い手の育成						
課題の概要	Y字形栽培とスマート農業技術を組み合わせた、水田転換園における本県オリジナルモモ品種の省力栽培の実用化試験に取り組むとともに、本研究圃場を担い手の省力栽培技術習得の場として活用する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
	有効性	3人	3人	2人	0人	0人	4.5
	効率性・妥当性	2人	2人	2人	0人	0人	4.0
	総合評価	3人	3人	0人	0人	0人	4.5
助言・指摘事項等	1. モモのブランド維持のためにも、精力的に研究を進めて欲しい。 2. 担い手の育成に関わる課題は社会的ニーズが高く、非常に重要な課題であるため、実践的で活用しやすい成果につながることが期待される。 3. 省人化対策として早急な対応が必要な課題である。 4. スマート栽培による労働負担の軽減と終了の安定化は、将来的な担い手確保などにつながる可能性があると思われる。 5. 本研究圃場を担い手の省力栽培技術習得の場として活用することが期待されている。						

番号	R7-事前-5						
課題名	夏季の異常高温に対応したブドウ栽培技術の開発						
課題の概要	異常高温下における従来の栽培管理方法について、果実生産への有効性を再検証するとともに、新たな資材や技術の導入による応急的な対策技術を開発する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	1人	5人	0人	0人	0人	4.2
	有効性	1人	5人	0人	0人	0人	4.2
	効率性・妥当性	1人	3人	2人	0人	0人	3.8
	総合評価	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
助言・指摘事項等	1. 異常高温に対する栽培技術の開発は喫緊の課題であるので、精力的に取り組んで欲しい。 2. 費用対効果や労力面でも現実的な対応策の検討により、新たな栽培技術の開発につながることが期待される。 3. 現場のニーズに対応して早急に取り組むべき課題である。 4. 研究の成果は安定的で高品質なブドウ栽培に貢献できる 5. 夏季の異常高温の状況下でも高品質な果実の生産が可能となり、県産ブランド力の更なる強化に貢献できる取組である。						

番号	R7-事前-6						
課題名	優良な育種用品種の収集によるイチゴ新品種の育成						
課題の概要	高級果専店で取引される高品質な「晴苺」ブランドにふさわしい、大粒で外観に優れ食味の良いイチゴ新品種を育成する。また、農家経営の安定化に寄与する多様な特徴を持つ品種の育成も同時に行う。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	2人	3人	1人	0人	0人	4.2
	有効性	1人	4人	1人	0人	0人	4.0
	効率性・妥当性	1人	2人	3人	0人	0人	3.7
	総合評価	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
助言・指摘事項等	1. 新品種が開発されるまでの間、他機関が開発した品種の利用を検討してはどうか。 2. 食味に優れ、生産性の高い新品種が選抜されることが期待される。 3. 未譲渡性の担保や海外流出に留意して取り組む必要がある。 4. 岡山県内でしか食べられないといった販売方法の検討も進めていただきたい。 5. 早期に多様な優良特性をもつイチゴ新品種の育成が期待される。						

番号	R7-事前-7						
課題名	集落営農組織等の二階建て方式による中山間地域の活性化方策の策定						
課題の概要	集落営農等の二階建て方式の確立に向けた制限要因及び合意形成手法を解明し、中山間地域の活性化方策を明らかにして、施策形成のための提言をする。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
	有効性	0人	5人	1人	0人	0人	3.8
	効率性・妥当性	1人	4人	1人	0人	0人	4.0
	総合評価	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
助言・指摘事項等	1. 他府県の先行事例を参考にする際には、問題点も含めて、導入方法を検討して欲しい。 2. 中山間地域の高齢化や担い手不足に対応して早急に取り組むべき課題である。 3. 市町村などと連携して現地実証などをを行い、成果の定着、検証をお願いしたい。 4. 研究成果を行政施策に反映させ、集落営農組織等の二階建て方式の取組増加につなげてもらいたい。						

注意事項

- ① 各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容をとりまとめて記載する等、簡潔にとりまとめてください。また、この資料は、HPで公表する予定ですので、特定の個人を指す実例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。
- ② 評価結果欄は全ての項目について、得点を付けた人数を記載し、平均点を少数第1位で記載してください。

令和7年度岡山県農林水産総合センター農業研究所試験研究課題評価結果票

<中間評価>

総合評価凡例 5：優先的に継続することが適當 4：継続することが適當
 3：計画変更して継続することが適當 2：継続の必要性が低い
 1：中止すべきである

番号	R7-中間-1						
課題名	冷房処理を活用したスイートピーの着花安定化技術の確立						
課題の概要	ヒートポンプを活用し、秋季から春季まで高品質な切り花生産を可能とする栽培技術を確立する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成可能性	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
	〃(阻害要因)	2人	2人	2人	0人	0人	4.0
	必要性	1人	2人	3人	0人	0人	3.7
	有効性	1人	3人	2人	0人	0人	3.8
	効率性・妥当性	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
	総合評価	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
助言・指摘事項等	1. ヒートポンプを利用した冷房処理は効果があることが判明しているので、ヒートポンプが速やかに導入されるように、現地検討会、講習会、予算政策に取り組んで欲しい。 2. 経済的な評価も重要であることから、費用対効果の高い技術の確立が期待される。 3. 経済性の評価をしっかり行い、成果の普及にあたっては、その利益を明確に提示することが必要と考える。 4. 年次変動を見ながら成果の普及に向けた検討を進めていただきたい。 5. 秋から春までの冷房処理を組み合わせることにより、品質を向上させ、安定生産を可能とする技術の開発が期待されている。						

注意事項 事前評価と同じ

令和7年度岡山県農林水産総合センター農業研究所試験研究課題評価結果票

<事後評価>

総合評価凡例 5 : 著しい成果が得られた
 4 : 十分な成果が得られた
 3 : 一定の成果が得られた
 2 : 見込んだ成果を下回った
 1 : 成果が得られなかった

番号	R7-事後-1																																																								
課題名	天候対応型炭酸ガス施用による施設栽培ナス多収技術の確立																																																								
課題の概要	晴天及び曇天に対応した費用対効果の高い炭酸ガス施用方法を明らかにする。さらに晴天時の炭酸ガス施用時間の延長、曇天時の炭酸ガス施用と日中加温等による増収を図る。																																																								
評価結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>5点</th><th>4点</th><th>3点</th><th>2点</th><th>1点</th><th>平均点</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標達成度</td><td>1人</td><td>2人</td><td>3人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>3.7</td></tr> <tr> <td>有効性(効果)</td><td>0人</td><td>3人</td><td>3人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>3.5</td></tr> <tr> <td>有効性(目的以外の成果)</td><td>0人</td><td>4人</td><td>2人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>3.7</td></tr> <tr> <td>効率性・妥当性(費用対効果)</td><td>0人</td><td>3人</td><td>3人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>3.5</td></tr> <tr> <td>効率性・妥当性(計画)</td><td>0人</td><td>3人</td><td>3人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>3.5</td></tr> <tr> <td>成果の活用・発展性</td><td>0人</td><td>5人</td><td>0人</td><td>1人</td><td>0人</td><td>3.7</td></tr> <tr> <td>総合評価</td><td>0人</td><td>5人</td><td>1人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>3.8</td></tr> </tbody> </table>	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点	目標達成度	1人	2人	3人	0人	0人	3.7	有効性(効果)	0人	3人	3人	0人	0人	3.5	有効性(目的以外の成果)	0人	4人	2人	0人	0人	3.7	効率性・妥当性(費用対効果)	0人	3人	3人	0人	0人	3.5	効率性・妥当性(計画)	0人	3人	3人	0人	0人	3.5	成果の活用・発展性	0人	5人	0人	1人	0人	3.7	総合評価	0人	5人	1人	0人	0人	3.8
区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点																																																			
目標達成度	1人	2人	3人	0人	0人	3.7																																																			
有効性(効果)	0人	3人	3人	0人	0人	3.5																																																			
有効性(目的以外の成果)	0人	4人	2人	0人	0人	3.7																																																			
効率性・妥当性(費用対効果)	0人	3人	3人	0人	0人	3.5																																																			
効率性・妥当性(計画)	0人	3人	3人	0人	0人	3.5																																																			
成果の活用・発展性	0人	5人	0人	1人	0人	3.7																																																			
総合評価	0人	5人	1人	0人	0人	3.8																																																			
助言・指摘事項等	<ol style="list-style-type: none"> 曇天時のCO₂施肥濃度が適正かどうか、再検討の必要があり。 可能な限り評価者の尺度のずれを生じないような取組の検討も必要と思う。 計画通り、現状改善に向けた結果が得られたことを評価する。研究が終わった後もこの成果の社会実装を進めていただくようお願いする。また、論文を日本作物学会の和文誌等に投稿することを勧める。 現在取り組まれている品種の特性把握と栽培技術の確立と合わせることで、さらなる発展を期待したい。 炭酸ガス施用方法と株間とマルチの二つの開発技術の組合せにより、施設ナスの増収及び所得の向上が可能となるため、生産現場へ普及をすすめてほしい。 																																																								

番号	R7-事後-4						
課題名	準高冷地での「シャインマスカット」成熟促進技術の確立						
課題の概要	準高冷地における「シャインマスカット」の糖度上昇と果粒肥大を両立させる栽培技術を確立する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	有効性（効果）	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	有効性（目的以外の成果）	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	効率性・妥当性（費用対効果）	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	効率性・妥当性（計画）	0人	1人	5人	0人	0人	3.2
	成果の活用・発展性	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
	総合評価	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
助言・指摘事項等	1. 準高冷地におけるブドウ生産を安定化させるための技術開発を今後も進めて欲しい。 2. 今後の現地での技術指導と技術活用が期待される。 3. 計画通りの成果が得られたことを評価する。 4. ニーズの高い県中北部での実証活用が必要と考える。 5. 生産者が気候や樹の状態に応じた副梢管理やホルモン処理をすることで、品質と収量の向上が期待できるため、産地への普及を急いでほしい。						

番号	R7-事後-5						
課題名	気象変動等に対応した黒大豆枝豆の安定生産技術の確立						
課題の概要	黒大豆の安定生産技術を確立するため、現地調査で明らかにした収量低下要因に係る対策技術を現地に導入して効果を検証するとともに、現地の実態に即した対策マニュアルを作成する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	有効性（効果）	0人	1人	5人	0人	0人	3.2
	有効性（目的以外の成果）	0人	3人	3人	0人	0人	3.5
	効率性・妥当性（費用対効果）	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	効率性・妥当性（計画）	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	成果の活用・発展性	0人	5人	1人	0人	0人	3.8
	総合評価	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
助言・指摘事項等	1. 様々な生産者が簡易で利用しやすい灌水マニュアルの作成が必要である。 2. 作成したマニュアルが今後の普及につながることが期待される。 3. 高温・乾燥対策については、対応可能な現地において事例を積み上げていく必要があると思う。 4. マニュアルを県内全域で活用することで安定生産に寄与できると思う。 5. 収量低下が問題になっている黒枝豆だけでなく黒大豆栽培の安定多収や食味向上に結び付く技術であり、生産現場への普及が期待されている。						

